
いつめん。-俺と愉快的仲間たち-

柴わんこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつめん。 - 俺と愉快的な仲間たち -

【Nコード】

N2225U

【作者名】

柴わんこ

【あらすじ】

時に授業をサボって仲間と駄弁る、どっかで面白そうな事件がありやあ首を突っ込んで好き放題暴れ回る、それが俺たち『春川』まあ、暴れるとは言ってもヤクザとか暴走族とは違うからな。んじゃ俺はこの辺で失礼っと。

1 話（前書き）

作者はこの作品を未完結で逃走すると思われます……。

1話

キンコンカンコンと学校のチャイムが当りに鳴り響く。それは授業を終了するサインで、それを聴き生徒は安堵のため息をついたり、背伸びをして疲れを癒したり友達と学校終わった〜等とそれぞれが終わりの嬉しさを感じていた。

……はずなのだが、このとある別室に5人の生徒がいた。この者たちは授業に出ずに何をしているのやら……。もしや不良なのだろうか。何故授業を受けていないのか。今のところ不明である。

そっぴや俺枕なんて持つてきてたっけ……。

そう思いながらうつすらと目を空ける男子、直後視界に捉えた少女の顔を見て心拍数が跳ね上がりさらに大きな声を上げた。

「ちょ！？待っ、はあ！？何だこのシチュは?!」

彼が起きて早々驚くのも仕方がない、自分は自らの腕を枕代わりにして寝ていたはずなのにいざ起きてみればそこには膝があつたからだ。そう、彼の言うシチュ、つまりシチュエーションとは俗に言う膝枕というやつだったのだ。

そしてそんな彼を覗き込むように少女は何が〜？と彼の氣を知った上でいたずらな口調でそう言い、それに続けて言い放つ。

「だって寝てたし、それにいちいち反応が面白いんだもん」

少し馬鹿にされた彼、この高校2年1組佐藤春樹さとうはるきは、はあー？と眉毛をつり上げあきれ返った。ついでに両手で顔を隠しているのは彼のそりゃあもうこの上なくわかり易い照れ隠しだ。

そしてこのめちゃくちゃ恥ずかしいシチュエーションから抜け出そうと彼はゆっくり移動するのだが……。

「そうはさせ……ないっ！」

「うえっ!?!」

逃げ出そうとする春樹の頭を両手で掴み彼女は自らの膝に押し付けそれを阻止した。そんな少々いたずら好きな彼女、2年1組立花紗希たちばな さきは、それはもうとても楽しそうにずっと膝の上の春樹をいじっている。この少女のいたずらな笑みが何とも可愛らしいのが不思議だ。

そしてそれを横目に笑いながら語り合う男女がいる、金髪がトレードマークの神城和也かみしろ かずや、そして茶髪で癖のない綺麗なストレートロングが自慢の椎名佳織しいな かのり、そして常に体のどこかにカメラを隠し常備している藤本鷹兔ふじもと たかと

この5人、校内でも意外と有名な集団でさらには巷ちまたでも有名になり始めている。5人まとめて『春川』という名前を名乗っている……まあ、言ってしまうえば妙な人たちだ。

もう一度言おう、変な人た……「うぎゃっ!?!」

カメラのレンズを拭きながら何やら語っていた鷹兔たかとが軽く悲鳴を上

げた、そんな彼の頭には手刀が入っていた。その刀を抜いたのはこの金髪男である。

「変な人とはよくいうじゃねえか鷹兎、お前なにか？俺と椎名が話している間に俺ら『春川組』の説明の練習でもしてんの？というかもうここらじゃ知らない人はいないと思うけどな」

「あはは……。いやあ、なんかさ。ほら今見始めた人にもわかり易く……。さ？つか春川組じゃなくて春川だから、そんな俺ら893《ヤクザ》みたいな集団じゃないよ？」

「ふふ、鷹ちゃんさつきから何かおつかしーよ？急に頭おかしくなっちゃったのかな？」

「……うん！俺おかしくなったのかもね！」

あえて開き直りその場に合うセリフを考え口に出す鷹兎。

その瞬間その場にいた全員が笑い出した。まあこれが彼らの日常である。皆、このとおり授業をたまに集団でサボったりしてはみんなが集まってこのように楽しく駄弁ったりしている、かといって彼らは不良ではない。それでも過去に同じ高校の悪さばかりしてみんなを困らせてたグループと真っ向勝負で文字通り「ぶっ潰した」経歴がある至っていい奴らだ。もちろんそれ以来同じ校内の生徒からの株価が急上昇、その勢いで生徒会に入れさせられそうだったくらいだ。

ちなみにその誘いは春樹と姫川がきっぱりと断ってしまった。普通承諾しておけば内申が上がったりと少々せこいが後々社会に出るに当たって有利になるのだが……。先も述べたようにそれを断ってしまう

った。しかもその理由は至って単純で、『暇を潰されるのは嫌だ』『忙しいのが嫌だ』『つかめんどい』『ってか生徒会に俺の嫌いな奴がいる』という理由で生徒会の勧誘を断ったのだった。何というか……馬鹿とは言い切れない憎めない奴である。

とまあ、内申よりも楽しい時間を優先する彼らが、春樹と紗希を中心とした【いつめん】である。

1話（後書き）

次話より神視点と個人視点を織り交ぜていこうと思います。読みにくかったらすいませんwとりあえず暇つぶし程度になれば幸いです。ではお気に入り登録よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2225u/>

いつめん。-俺と愉快的仲間たち-

2011年10月6日18時28分発行